

10 人や国の不平等をなくそう

16 平和と公正をすべての人に

4 質の高い教育をみんなに

3 すべての人に健康と福祉を

分野 近代日本史、グローバル思想史

- 研究テーマ**
- ・自由民権運動と士族反乱
 - ・「啓蒙主義」と「反啓蒙主義」
 - ・明治前期の公共圏
 - ・栃木民権運動の思想史

キーワード 自由・民権・近代化・国家・グローバル・公共圏

所属学会等 European Association for Japanese Studies

特記事項



URL: -
Mail: ghadimi[at]cc.utsunomiya-u.ac.jp

TEL: 028-649-5218
FAX: -

研究概要

グローバルな視点から日本史を研究しています。明治前期において、グローバルの時代の中で「知る」や「在る」という基礎的な人文的な問題についてどのような考えがあったのか、その考えは社会秩序や政治過程にどう影響を与えていたのかを検討しています。そして、明治前期の思想史をグローバル思想史という新しい分野と結びつけようと努めています。

教育・研究活動の紹介 (特徴と強み等)

授業では、理論と実例を両方用いながら「文化」や「思想」というカテゴリーを検討しています。文化や社会に関する顕著な理論的枠組みを考察し、それらを歴史の実例に応用することにより、その視点や限界、隠された前提や含意などを探っています。このような勉強により、グローバル化の中で「知識」とはなにか、「生きる」とはどういう意味があるのかについて考える能力を助長したいです。

今後の展望

これからは栃木県と宇都宮市の劇的な歴史に集中を向け、栃木史の重要性とその世界との深いつながりを主に英語圏で紹介していきたいです。特に栃木の自由民権史について研究を進め、明治前期における栃木の思想家の考えや葛藤を理解し、世界史におけるその意義を見出したいです。

社会貢献等 (社会活動 特許等取得状況 産学連携・技術移転の対応等)